

山城北保健所管内の感染症発生動向調査

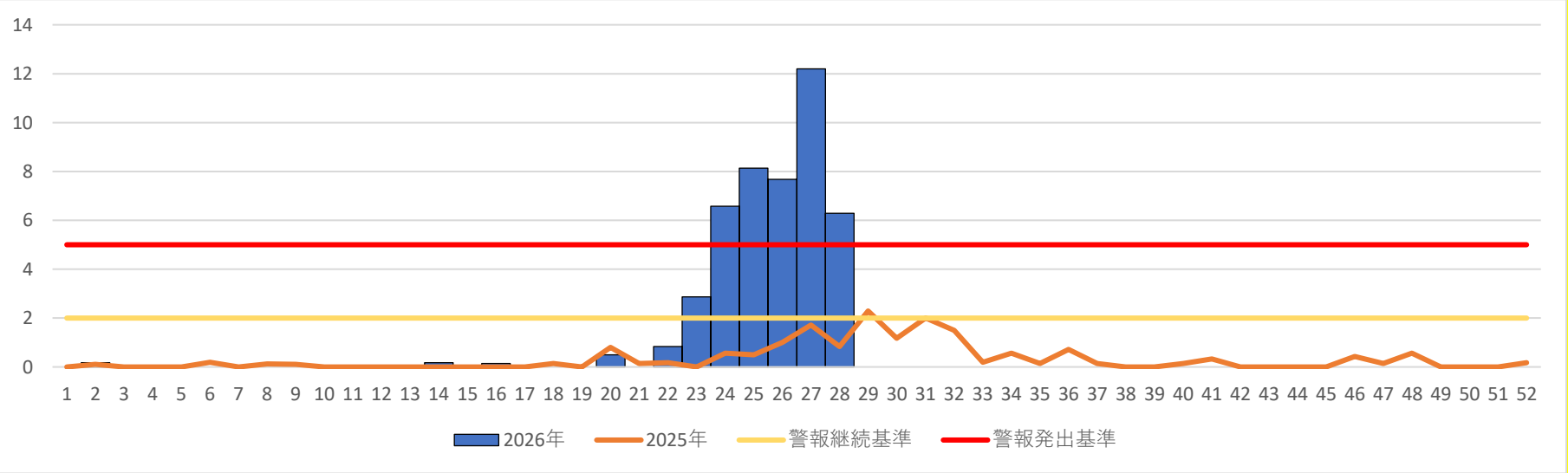
(ARI定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

2026年 第28週 令和8年7月6日～令和8年7月12日

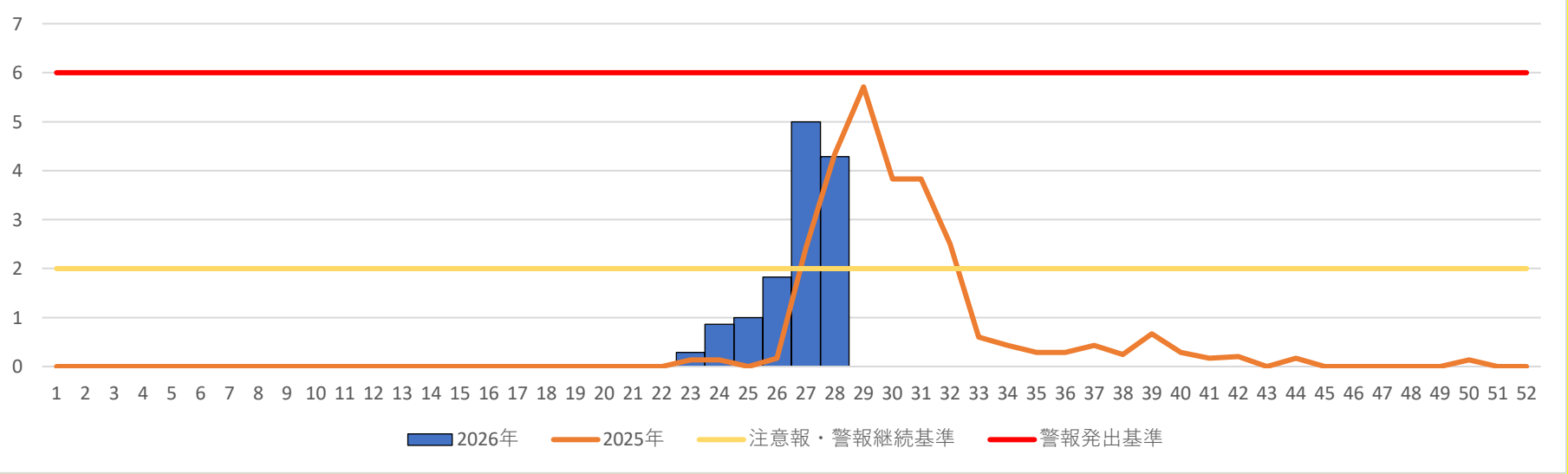
今週のコメント

- 「手足口病」の定点当たりの報告数は、6.29（27週12.20、26週7.67）と減少傾向ですが、依然警報発出基準を超えています。感染防止のためにしっかりと手洗いをし、タオルの共有は避け、排泄物を適切に処理するようにしましょう。
- 「ヘルパンギーナ」の定点当たりの報告数は、4.29（27週5.00、26週1.83）と横ばいです。
- 「水痘」の定点当たりの報告数は、0.43（27週0.60、26週1.17）と減少傾向です。
- 「新型コロナウイルス感染症」の定点当たりの報告数は、2.10（27週2.88、26週1.00）と横ばいです。
- 「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」の定点当たりの報告数は、1.71（27週2.00、26週4.67）と減少傾向です。

手足口病（定点把握疾患）山城北保健所管内週当たり報告数



ヘルパンギーナ（定点把握疾患）山城北保健所管内週当たり報告数



定点把握疾患

< 特定の医療機関（定点医療機関）を定め、その医療機関を受診した患者の数を基に、流行状況を把握 >

疾患名	定点あたりの報告数（前週比）	疾患名	定点あたりの報告数（前週比）
インフルエンザ	0.10（0.77）	手足口病	6.29（0.52）
新型コロナウイルス感染症	2.10（0.73）	伝染性紅斑	3.00（0.00）
RSウイルス感染症	-（0.00）	突発性発しん	0.14（0.00）
咽頭結膜熱	0.71（0.36）	ヘルパンギーナ	4.29（0.86）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.71（0.86）	流行性耳下腺炎	0.14（0.70）
感染性胃腸炎	3.14（1.05）	急性出血性結膜炎	-（0.00）
水痘	0.43（0.72）	流行性角結膜炎	0.33（0.00）

定点あたりの報告数＝1週間の報告件数／定点数

警 報：1週間の定点あたり報告数が、ある基準値（警報の開始基準値）以上の場合に発生します。

前の週に警報が発生していた場合、1週間の定点あたり報告数が別の基準値（警報の継続基準値）以上の場合に発生します。

注意報：警報が発生していないときに、1週間の定点あたり報告数が、ある基準値（注意報の基準値）以上の場合に発生します。

全数把握疾患

< 全ての医療機関から医師の届出が義務付けられている感染症 >

分類	報告
1 類感染症	報告なし
2 類感染症	報告なし
3 類感染症	報告なし
4 類感染症	レジオネラ症1件
5 類感染症	報告なし

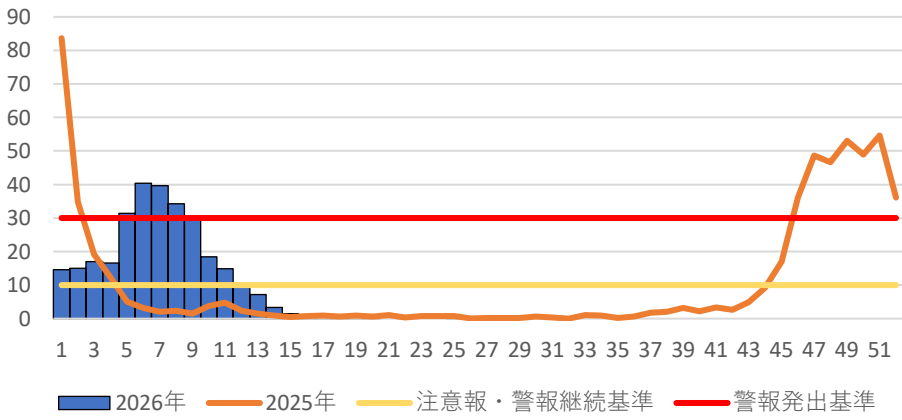
※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考：京都府感染症情報センター

<https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

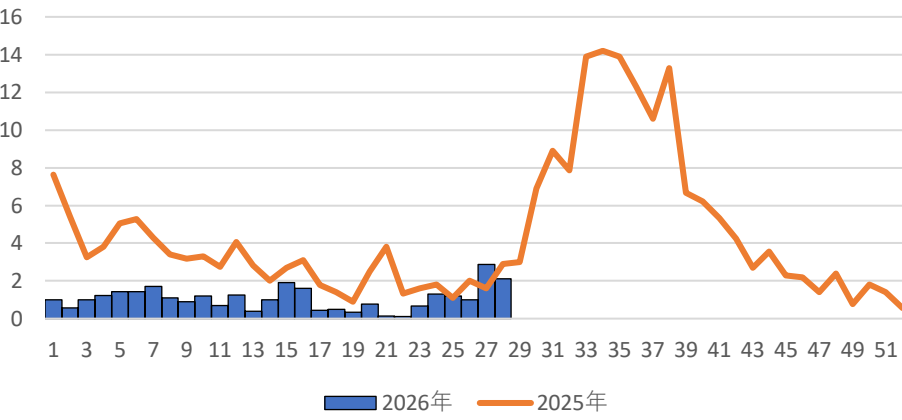
山城北保健所管内定点当たり報告数推移

インフルエンザ



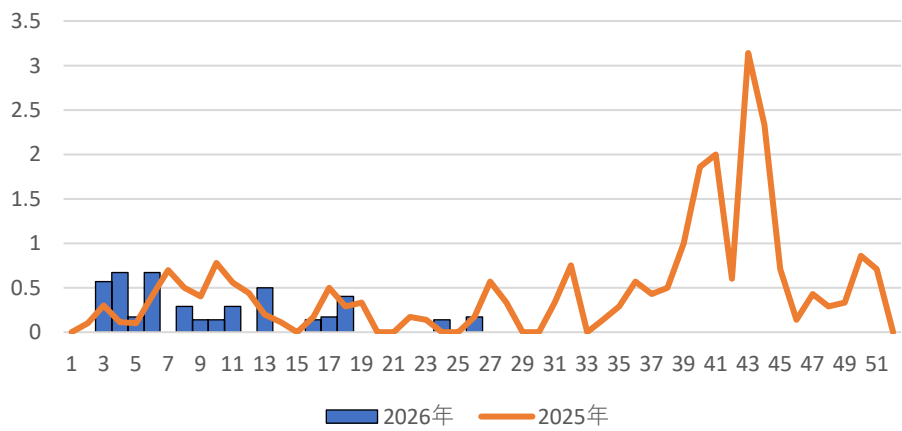
新型コロナウイルス感染症

警報基準なし

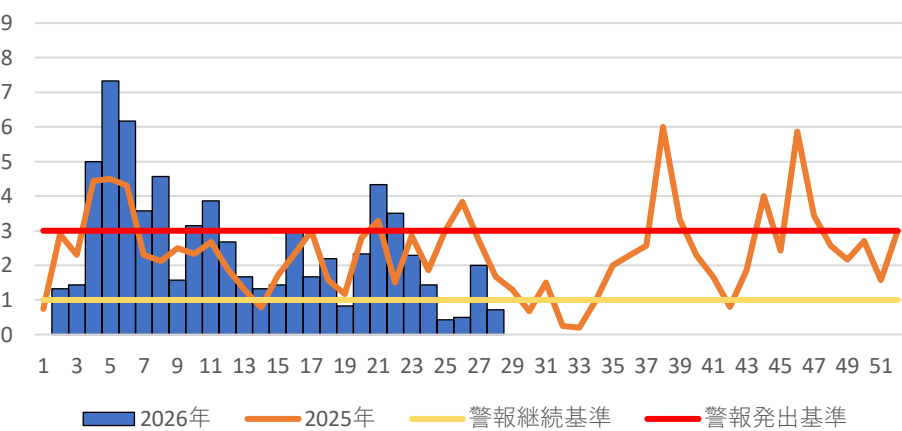


RSウイルス感染症

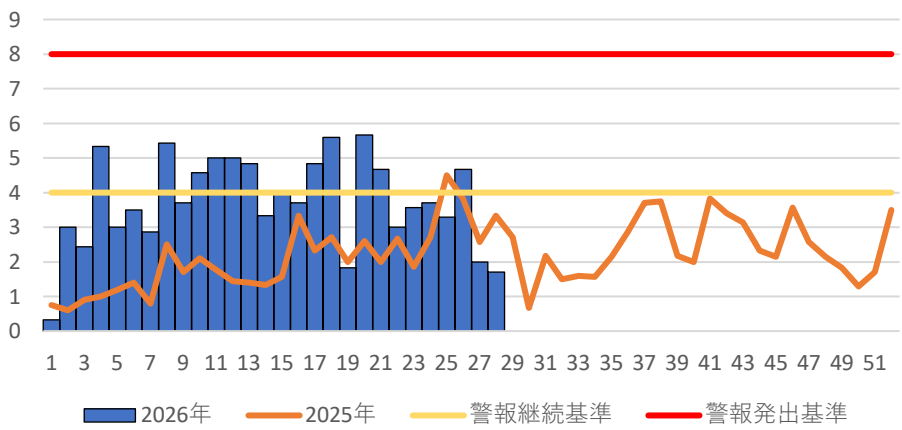
警報基準なし



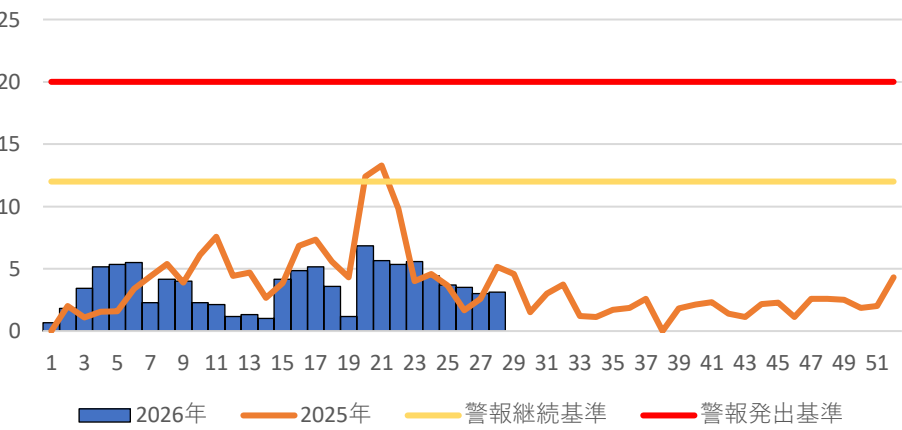
咽頭結膜熱



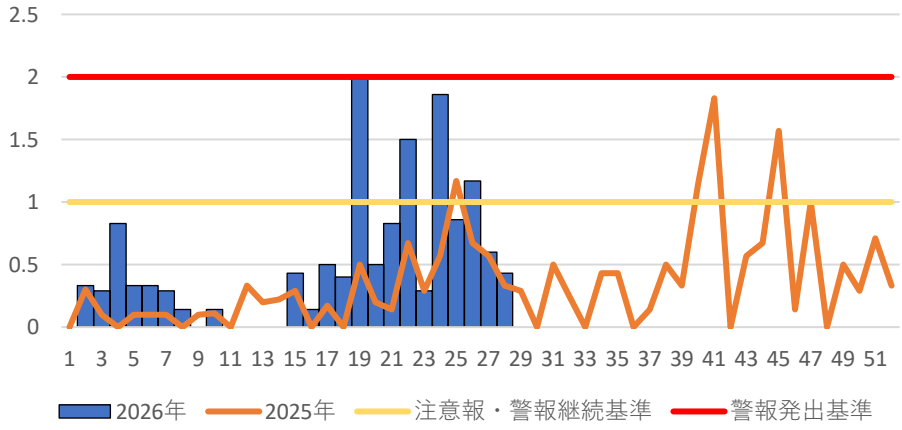
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



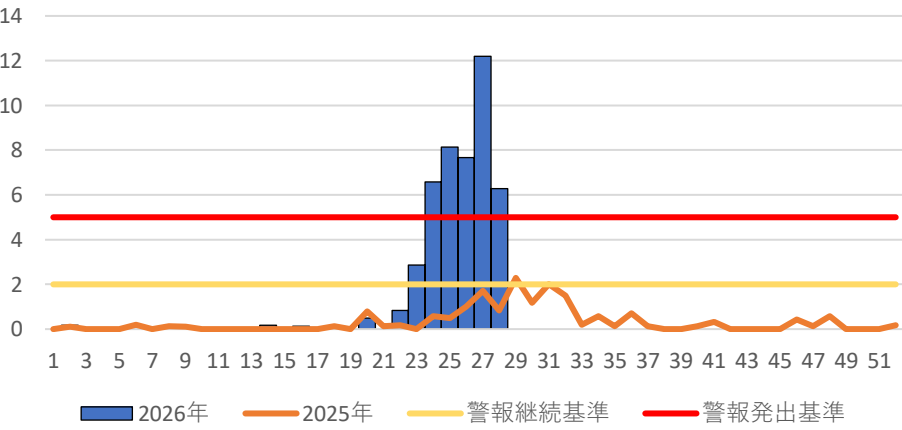
感染性胃腸炎



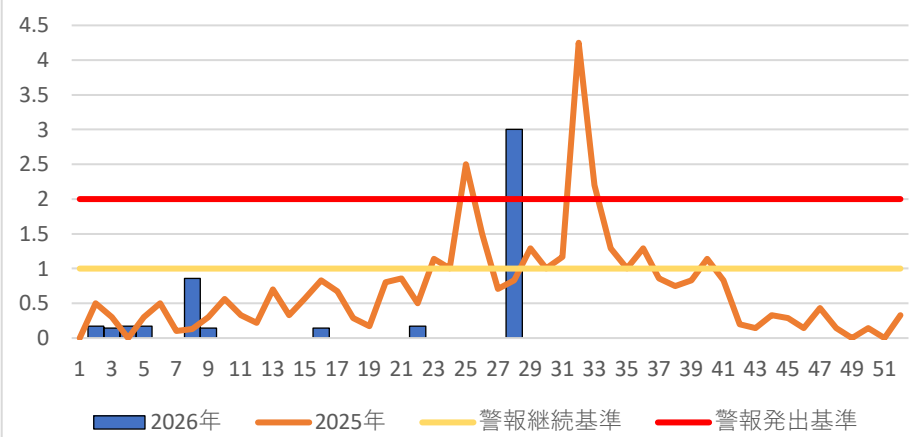
水痘



手足口病

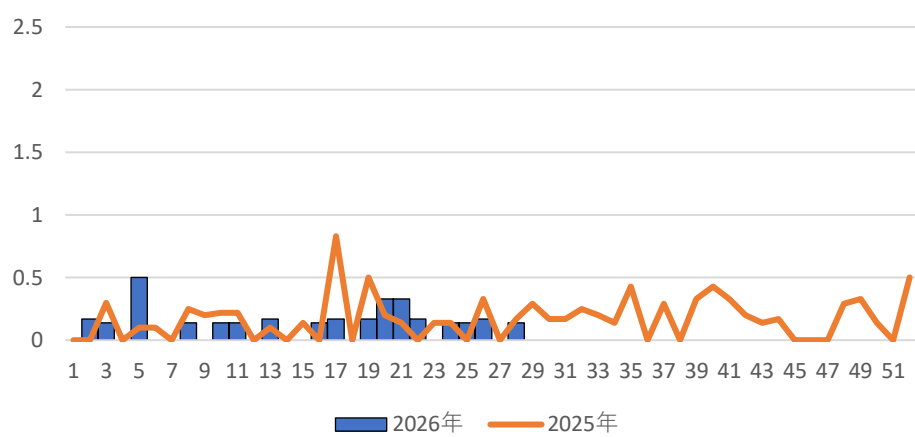


伝染性紅斑

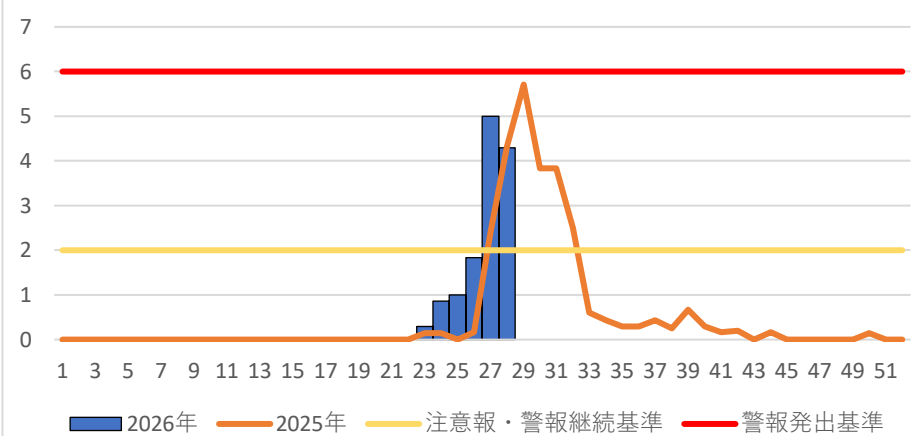


突発性発しん

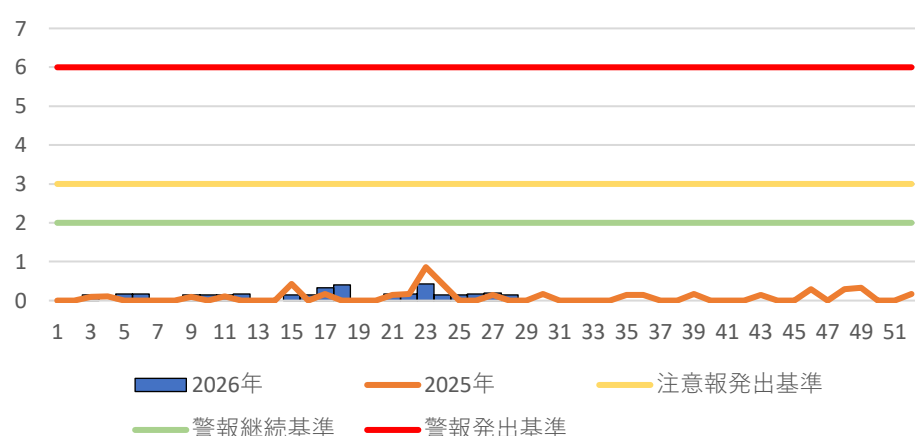
警報基準なし



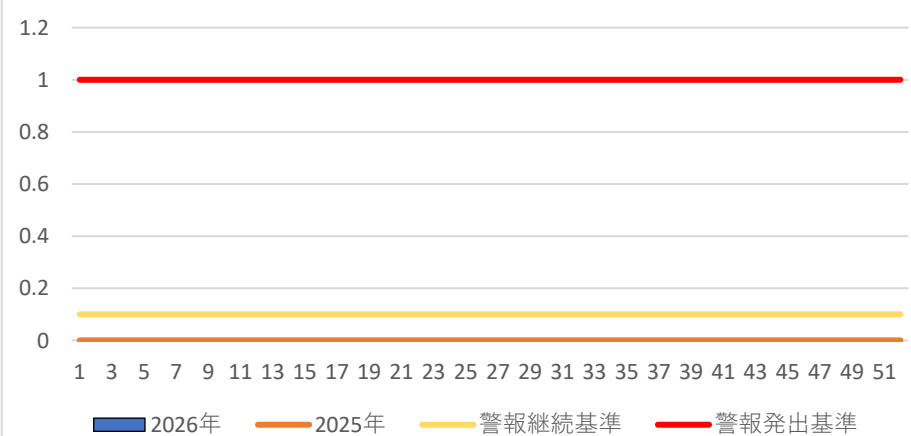
ヘルパンギーナ



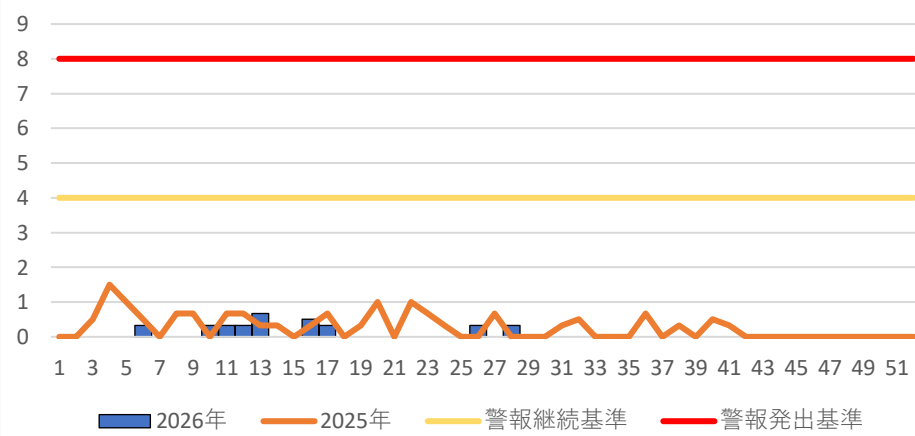
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症（ARI）とは

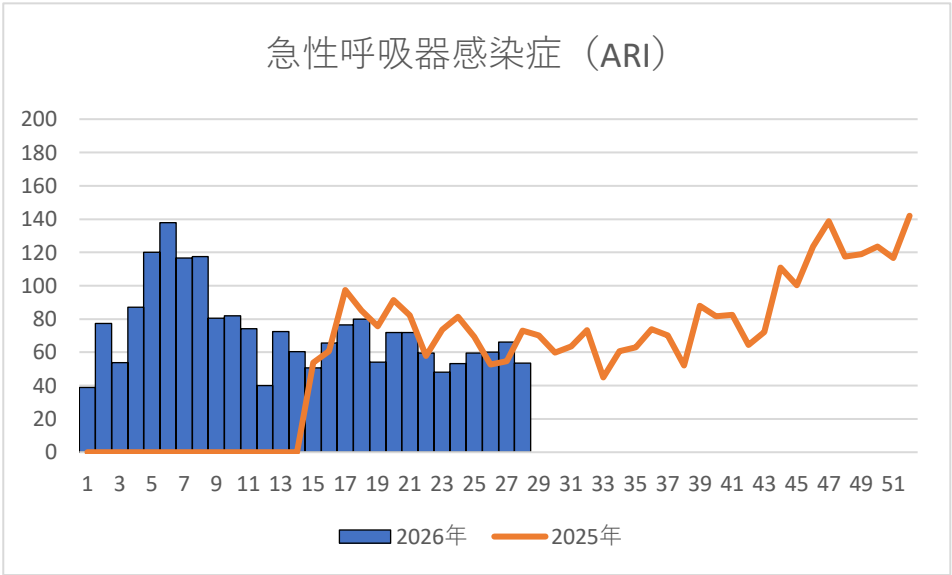
急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。以下の症例定義（※）を満たす場合に報告対象となることから、インフルエンザやCOVID-19等と診断された場合でも、ARIの症例定義の症状があれば両方の報告対象となります。

※ 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

	定点あたりの報告数（前週比）
急性呼吸器感染症（ARI）	53.57（0.81）

山城北保健所管内定点当たり報告数推移



※ 急性呼吸器感染症：2025年4月7日から集計を開始

参考：京都府感染症情報センター 京都府におけるARI発生状況 <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/ari.html>